

## 成人用肺炎球菌予防接種について（お知らせ）

豊丘村では平成26年10月1日から、成人用肺炎球菌ワクチンの補助を65歳以上の方全員に実施しています。下記の条件にあてはまり、接種を希望される方に予防接種費用の一部を助成します。

なお、接種は強制ではありません。

### !!ご注意ください!!

過去に成人用肺炎球菌ワクチンを接種した方（自費で受けた方も含む）は、  
今回の補助の対象となりません。

#### 【接種対象者】

豊丘村に住所があり、過去に成人用肺炎球菌ワクチンを接種したことがない方のうち、次のいずれかに該当する方

1. 平成30年度に65歳以上となる方(昭和29年4月1日以前に生まれた方)
2. 接種日において、60歳以上65歳未満で、心臓、じん臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害により身体障害者手帳1級をお持ちの方



#### 【接種期間】 平成30年5月1日～平成31年2月28日

- この期間中の接種であれば、費用の自己負担額は4,000円となります（期間外での接種は8,000円以上になる可能性があります）

#### 【接種回数】 1回

#### 【持ち物】 予診票（同封した紫の枠の用紙です）、保険証、 本人負担額 4,000円

※生活保護世帯の方は無料です。異動（認定・停止）があった場合はお申し出ください

#### 【受け方】 かかりつけ医へ必ず予約をして受けてください 裏面の説明書をお読みいただき、予診票の太枠内に記入して医療機関へ お出しください

◎紛失等による予診票の再発行は役場保健衛生係までご連絡ください（電話：0265-35-9061）

## 成人用肺炎球菌予防接種とは

肺炎球菌は肺炎、中耳炎、副鼻腔炎、気管支炎、髄膜炎などを起こす細菌の一つです。肺炎球菌による肺炎は、高齢者の肺炎の約半数を占め、重篤化が問題になっています。

肺炎球菌ワクチンとは、肺炎球菌の感染を予防するワクチンです。肺炎球菌には、80種類以上の型がありますが、ワクチン接種により、そのうちの23種類に対して免疫をつけることができ、重症化防止などの効果が期待されます。

成人用肺炎球菌ワクチンは過去に接種したことがある方に、副反応が強く出るという報告があります。過去に接種された方は、今回絶対に受けないようにして下さい。

## 予防接種の注意事項

### 【接種が不適当な方】

次のいずれかに該当すると認められる場合には、接種を行ってはいけません。

- ① 明らかな発熱を呈している方
- ② 放射線、免疫抑制剤などで治療中の方（免疫抑制剤による治療を受けられる方は、少なくとも14日以上前までに接種を行ってください）
- ③ 1週間以内に全身麻酔での手術を受けた、または2週間以内に受ける予定のある方
- ④ 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- ⑤ 本剤の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな方
- ⑥ 上記に掲げる方のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある方

### 【接種要注意者】

健康状態及び体質を勘案し、次のいずれかに該当すると認められる場合には、かかりつけ医とよく相談をして接種する必要があります。

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患及び発育障害などの基礎疾患を有することが明らかな方
- ② 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方及び全身性発疹などのアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
- ③ 過去にけいれんの既往のある方
- ④ 過去に免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑤ 本剤の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方

### 【接種後の注意】

- ① 接種当日は激しい運動を避けてください。（接種当日の入浴は差し支えありません。ただし注射したところをこすらないでください）
- ② 副反応として、接種した部位の痛み（72.3%）、腫れ（23.1%）、発赤（26.2%）などがありますが、一般にその症状は軽く、通常、数日中に消失します。重大な副反応として、ごくまれにショックやアナフィラキシー様症状（じんましん、呼吸困難等）などが現れることがあります。
- ③ 接種後は自らの健康管理に注意し、高熱や体調の変化、その他局所の異常反応に気づいた場合は、ただちに医師の診療を受けてください。

### 【その他】

- ① 肺炎球菌とインフルエンザの両方のワクチンを接種することで、より高い肺炎予防効果が得られます。
- ② 脾臓摘出をされた方は、保険適応で接種することができます。

お問い合わせ先  
豊丘村役場 健康福祉課 保健衛生係  
保健師 電話 0265-35-9061